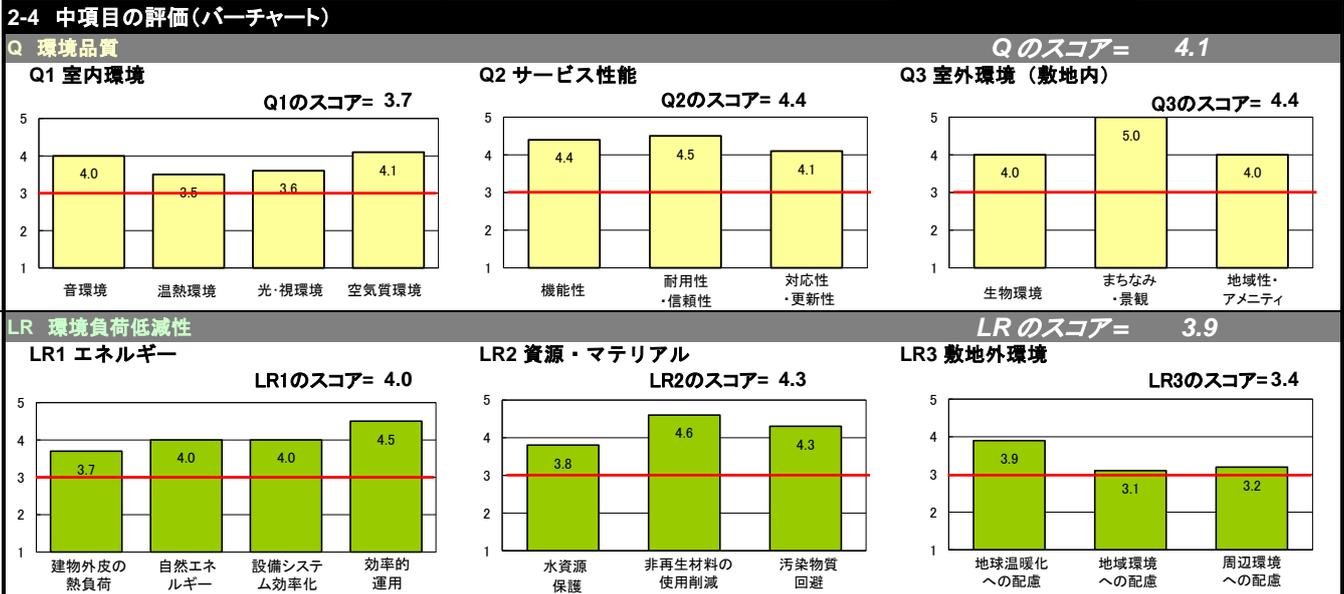
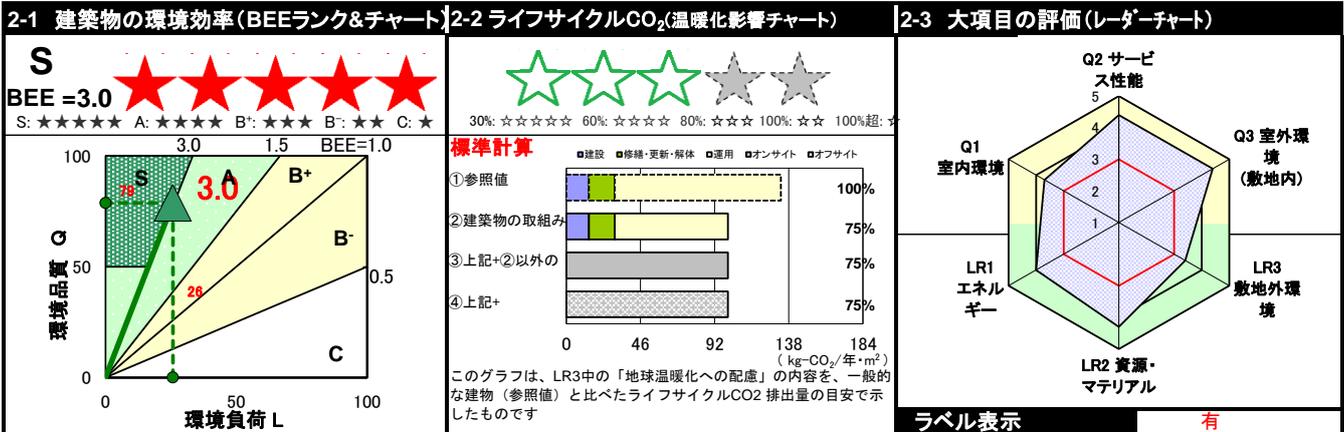


CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本町サンケイビル		
建設地	中央区本町4丁目、南本町4丁目		
建築用途	事務所		
建築主	(株)サンケイビル		
設計者	(株)竹中工務店		
敷地面積	2,455.84 m ²		
建築面積	1,562.44 m ²		
延床面積	29,941.07 m ²		
構造/階数	S造 / 地上21階、地下1階		
完了年(予定)	2021年8月		



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>①御堂筋エリアの新たなランドマーク、②高い商品性と確かなサービス水準、③事業性の最大化、④今後の本町地区を先導するテナントオフィスをめざして計画されている。にぎわい施設の設置やバリアフリー法誘導基準への適合、総合的な環境配慮の実施により質の高い魅力あふれるテナントオフィスをめざすと、大阪市の総合設計制度の容積割増しを最大限活用し、収益性の最大化を図っている。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>高性能PCaカーテンウォールにより、屋光豊かな室内空間の実現とともに、断熱性・温熱快適性を確保している。また冷暖フリー室内機のきめ細やかなゾーニング配置により高い温熱快適性・個別制御性を提供している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>十分な天井高や電源、通信対応など高いサービス水準のフレキシブルな貸室を実現している。また災害時事業継続性のために高い信頼性の変電設備や十分な燃料を備えた非常用発電機の設置、災害時の給排水計画がされている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>生物多様性や維持管理に配慮した高木並木を配置し、豊かな生物環境を都市の一角に形成するとともに、良好な景観を提供している。同時に木陰と設備排熱対応により、周辺のヒートアイランド抑制を図っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高断熱高遮熱外皮、高効率照明や屋光制御による負荷削減、水冷ビル用マルチやモジュールチラー(冬季補助熱源)などの高効率設備システムにより、高い省エネ性を確保し、同時にモニタリング設備と体制を整備している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>高強度材料やプレキャスト材、ユニット材料の使用により、材料使用量の削減やレイアウト変更時の部材再利用を可能としている。また高炉セメントやリサイクル材料、GWP係数の小さい発泡断熱材を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>高木による外構の木陰とともに、建築設備排熱の水冷化により、ヒートアイランド抑制を図っている。また周辺状況に配慮した動線計画や駐車場・駐輪場計画を採用、廃棄物抑制・管理を実施予定である。</p>

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 3.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9 負荷削減、高効率設備採用により運用CO2を削減
配慮事項	高断熱高遮熱外皮、高効率照明や昼光制御による負荷削減、水冷ビル用マルチやモジュールチラー(冬季補助熱源)などの高効率設備システムにより、エネルギー消費量と運用CO2を削減	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	4.0 自生種や植栽条件、維持管理に配慮した高木並木の形成
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	4.0 ピロティ・高木の日陰空間提供と建築設備排熱の高所配置
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0 高木による木陰形成と建築設備排熱の水冷化
配慮事項	生物多様性や周辺状況、維持管理に配慮した高木並木を配置し、豊かな植栽空間と景観を形成するとともに、木陰形成と設備排熱対応によりヒートアイランド抑制にも貢献	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.7 高断熱高遮熱外皮の採用
配慮事項	外壁及び屋根の高断熱化、開口部の高断熱高遮熱化およびブラインド設置により、外皮の高い断熱性能を確保	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.0 負荷削減、高効率設備採用によりエネルギー消費量を削減
配慮事項	高断熱高遮熱外皮、高効率照明や昼光制御による負荷削減、水冷ビル用マルチやモジュールチラー(冬季補助熱源)などの高効率設備システム採用により、一次エネルギー消費量を削減	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) -	非住宅部分[BPI][BPIm] 0.92
	(相当)	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.70	住宅部分[BEI] -
		非住宅部分[BEI][BEIm] 0.70

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討																										
① 周辺環境の把握																										
② 日照条件の検討																										
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ（ 92 ） m <input type="checkbox"/> 地上部（ <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ） <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他（ ）																									
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%;">方位（ ）</td> <td style="width: 20%;">高さ（約 ）</td> <td style="width: 20%;">m</td> <td style="width: 20%;">水平距離（約 ）</td> <td style="width: 20%;">m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）</td> <td>m</td> <td>水平距離（約 ）</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）</td> <td>m</td> <td>水平距離（約 ）</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）</td> <td>m</td> <td>水平距離（約 ）</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）</td> <td>m</td> <td>水平距離（約 ）</td> <td>m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m	方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m	方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m	方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m	方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m
方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m																						
方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m																						
方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m																						
方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m																						
方位（ ）	高さ（約 ）	m	水平距離（約 ）	m																						
ウ 日照の確保（冬至）	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分																									
③ 熱需要の条件等の検討																										
ア 建築物の用途	事務所等																									
イ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）																									
ウ 設置可能面積	（ 108.0 ） m ²																									
エ 概算年間熱利用量	（ 235,116 ） MJ/年																									
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし																									
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり （例：設備用基礎の設置） （ ）																									
④ 導入判断																										
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない																										
導入を見送る理由（複数選択可） <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他（ ）																										
2 導入する設備の概要																										
ア 集熱パネル面積	（ ） m ²																									
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年																									
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ）																									
備考																										